



www.13hw.com
13歳のハローワーク 公式サイト Presents

み☆ん☆なの
 vol.0 art & expression

未来地図

プレ
創刊



13歳のハローワーク公式サイト もっと教えて！フォーラム **仕事・職業選び**

アートと表現の仕事について知りたい!

13歳のハローワーク公式サイト もっと教えて！フォーラム **時事ニュースにひとこと!**

キミと一緒に考えよう! **小学校の英語必修化。**

村上龍インタビュー 「成功」ってどういうこと?

子どもたちは、それを知りたがっている。

イベント開催! 『13歳のハローワークマップ』で仕事探しの旅に出よう!

13歳のハローワーク公式サイト み・ん・なの 未来地図 vol.0 2007年7月号 発行/株式会社毎日コミュニケーションズ 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目1番1号 編集/13歳のハローワーク公式サイト編集部

Vantan

イベント開催
参加者募集!

あなたの「好き」は何ですか?
「好き」から始まる「未来のしごと」、この夏一緒に見つけてみませんか?

『13歳のハローワークマップ』で仕事探しの旅に出よう!

～アートと表現に関する職業編～
 8月11日(土)六本木ヒルズにて開催

パティシエ、ファッションデザイナー、スタイリスト、漫画家・・・あなたの就きたい「未来のしごと」は何ですか? 自分の「好き」がどこにあるのか、その好奇心の先にある具体的な職業、その職業を取り巻く職のつながりを探り、「未来のしごと」の選択肢を広げます。

プログラム



◆グループに分かれて、自分の好きな仕事、その仕事に関する職業を書き出し、オリジナルの仕事関係地図を作成します。考えているうちに今までなかった職業が新しく生まれることも?!

◆TVなどで活躍するオーガニック野菜スイーツ専門店「ポタジエ」のオーナーパティシエ柿沢安那さんをはじめ、ファッションデザイナー、アニメプロデューサーなど3名のプロが疑問・質問にお答えします。

イベント概要

- タイトル：『13歳のハローワークマップ』で仕事探しの旅に出よう!
- 日 時：8月11日(土) 13:00～16:00
- 会 場：六本木ヒルズ内 アカデミーヒルズ 49階 スカイスタジオ
- 最寄り駅：地下鉄日比谷線・大江戸線 六本木駅
- 参加費：無料
- 対 象：中学生 / 保護者(ご希望の場合)100名

参加者の中から抽選で3名の方に「ニンテンドーDSライト+学習ソフト」もれなく「13歳のハローワーク(幼冬巻)」をプレゼント

お申し込み先：
 株式会社バンタン「未来のしごと研究所」担当：加藤
 E-Mail：mirai@vantan.co.jp
 T E L：03-6731-3456 受付時間：9:00～18:00 (月～金曜日)
 U R L：<http://vantan.jp/mirai/> まで

主催：(株)バンタン「未来のしごと研究所」
 共催：(株)毎日コミュニケーションズ、13歳のハローワーク公式サイト編集部、(株)トップアスリート

未来のしごと研究所とは?

1人でも多くの若者が天職と思えるような仕事に出会えるよう、子供の頃から将来の仕事に関して考えるためのイベント、出張授業、ワークショップなどを開催していきます。若者の職業観の育成を通じ、子供たちの持つ未来の自分・仕事への創造力の育成を目指す、株式会社バンタンが行なう社会貢献を目的とした研究機関です。



村上龍 インタビュー

『13歳のハローワーク』著者

オトナから見た、
今どきの10代

「成功」って どういうこと？

子どもたちは、それを知りたがっている。

あこがれの職業はあるけど、どうやったら夢をかなえられるのか分からない。「13歳のハローワーク公式サイト」は、そんなキミたちの疑問に、夢を手にした人生の大先輩たちが直接アドバイスしてくれるホームページです。開設以来、多くの中高生から質問が寄せられ、大先輩たちからは親切な返事をたくさんいただいています。今回、「みんなの未来地図」の創刊にあたり、『13歳のハローワーク』の著者である村上龍さんから、子どもたちの仕事に対する意識などについて聞きました。



Profile

村上 龍(むらかみりゅう)
1952年(昭和27年)長崎県佐世保市生まれ。大学在学中の76年、基地の町の若者風俗を描いた「限りなく透明に近いブルー」で群像新人文学賞、第75回芥川賞を受賞する。その後、小説、エッセイ、対談集など、幅広い分野にわたり、話題作を発表し続けている。著書に「コインロッカー・ベイビーズ」「トバース」「五分後の世界」「KYOKO」「イン サ・ミソスープ」などがあり、「13歳のハローワーク」は120万部を突破するベストセラーに。また、「トバース」「KYOKO」などで自ら映画監督を務める。最新の長編書き下ろし「半島を出よ」(幻冬舎)は文芸の枠を越えた話題作となり、第59回毎日出版文化賞、第58回野間文芸賞を受賞する。第123回より芥川賞選考委員。

1 Webコミュニケーションの進化について

「仕事」がテーマ。だからこそ、真剣に話し合える。

代田(編集長) 「13歳のハローワーク公式サイト」では、大人と子どもとの仕事に関する活発なコミュニケーションが行われています。従来、Webにおけるコミュニケーションでは、誹謗中傷やけんかが起り、だんだん荒れてくる傾向があります。私は、Webコミュニケーション自体が次のステージにあがってきているのではないかと思っています。

村上龍氏 そうですね。このサイトは、生きていくことを支える「仕事」がテーマだから、みんな真剣なんです。その真剣な人たちがマジョリティ(多数派)を形成しているのが、浄化力があるのかもしれない。ふざけたことは言えない、という雰囲気がある。



編集長 代田昭久(左)と村上龍氏

そのサイトに醸し出されると、荒らす人も来づらくなるでしょう。

代田 趣味的なサイトでは楽しさ優先が必要以上に干渉せず、また噂話を中心の匿名サイトではみんなが無責任になりがちです。一方、仕事は誰もが真面目にやっていることだから、自ずと真剣になり、ほどよい緊張感が生まれているんじゃないかな。

村上 「趣味的」というのは、今の日本社会のキーワードだと思います。もちろん、趣味を持つことは悪いことじゃないし、豊かな暮らしの表れでもあります。たとえば写真撮影では、仕事だと失敗した時点で仕事が出来なくなるなど、ものすごくシリアスなりアクションがあるけれど、趣味だったら誰かに批判されることはないんです。つまり、趣味は人生に彩りを添えてくれますが、生き方そのものを変えるほどの力はなく、仕事で得られるような感動もありません。また、仕事は趣味的には絶対に語れません。お金が絡んでくることだし、生き方そのものだから。だから、扱うテーマが仕事であるということは、とても大きなことだと思います。ネットが荒れる理由のひとつに、「他人事のように語る」雰囲気があると思います。仕事は他人事には語れないので、自ずと切実になってくるんじゃないでしょうか。

2 大人の教育欲について 自分のバリューを大切にしている人が集まり、 価値のあるサイトに。

代田 「もつと教えて！みんなの仕事」でご回答いただいている大人の方は3000名ほどいらっしゃいますが、インセンティブ(動機付けの報酬)はゼロなんです。他のサイトでは、ポイント制度やキャッシュバック制度を採用していますが、我々はオープン前から「大人の教育欲で書いていただける」という仮設を立てていました。今の世の中、親たち大人が子どもにアドバイスする場が少ないので、教育したいと常々思っている人たちが協力してくれるのではないかと。半年、一年と経ち、それが証明されつつあると思っています。

村上 インターネットが普及し、プロ

グなどがとても盛んになっていきますよね。原稿料がもらえるわけでもないのに、いろんな人がたくさん情報を発信するようになりました。面白いブログには常連さんなどいいて、彼らはつねにそれを注視し、楽しんでいる。そういう人たちは、意識的ではないかもしれませんが、ネットのコミュニケーションの中で自分のバリュー(価値)が上がって、誰かに感謝される心地よさを楽しんでいるわけです。それがインセンティブ(動機付けの報酬)になっているんだと思います。それしか考えられないですね。

代田 当サイトにすぐ書き込んでくださっているヘビューザーの方5人くらいにお会いしたことがあるんです。みなさん、やっぱり発信することによって、価値が上がるんじゃないかな。価値が上がる方ばかりです。印象的だったのは、「決してポイント制にしないください」という意見があったことです。以前、別のサイトに書き込んで3万円キャッシュバックされたとき、自分の気持ちと3万円が釣

り合わず、もらって頭に来たそうです。この話を聞いて、金銭ではなく自分のバリューを上げることで納得されている方が多くいらっしゃるのだと実感しました。

村上 いい話ですね。そういうことばかりじゃないでしょうけれど、いい側面ですね。

3 子どもたちのこれからの コミュニケーション

「成功」を具体的にイメージさせるアドバイスが、大人に求められている

代田 子どもたちから寄せられる質問を読んでいると、いい大学を出ていい会社に入ったからといって人生勝ち組になれるわけではない、と彼らは感じていると思います。それに対して大人の方が、どういうアドバイスすればいいかわからなくなっているようにも見えます。

村上 今の子どもたちにしても、若い人たちにしても、成功したいと思ったいんです。しかし、「では人生の成功者ってどういうイメージなの？」と聞くと誰も分からない。中には、田舎の駅前に銅像が立つみたいなのを思っている人がまだいますからね。あるいは、巨万の富を築くとか。そういうことじゃなくて、人生は失敗

するより成功したほうがいいという前提があるとすると、成功とはどういうことかを具体的にイメージで示してあげないと、本当はいいんです。昔は、「成功」について深く考えなくても、年々給料も上がっていき、世の中がだんだん便利になっていくからなんとなくハッピーだった。でも今は違う、そう簡単にハッピーにならない。だからこそ、人生の成功者とはどういう人なのか、何をもちて成功なのかを、具体的に子どもたちや若い人たちに示してあげないといけないんです。

代田 では、成功者の定義とはなんですか？

村上 それは、二つあります。一つは、生きていけるだけの収入と達成感および充実感を与えてくれる仕事を持っていること。もう一つは、お互いに信頼し合える小さな共同体を持っていることです。家族という共同体は形がどんどん変化していくので、家族に限らず何かほかの小さなコミュニティでもいい。この二つを持っていけば、もう成功者だということにコンセンサスができあがれば、そこに向かつて子どもは努力するんですよ。ただ、現状そういうことがないんだなかなかな難しい。「どうすりゃいいんだよ」という感じになっているんだらうと思うんです。

賛成派

賛成 英語は、英語以外を母国語とする人とのコミュニケーション手段となっており、会話や読み書きができることは国際社会で生き残るために必須です。小学校でネイティブの発音を聞いて、耳を慣らしておくのは良いことだと思います。もちろん日本語は大切です。しかし、英語を必修化したら日本語力が低下するというのは短絡的だと思います。(建設機械/研究・開発・設計)

賛成 どうせ教えるなら小さいうちの方がいい。授業日数をもっと増やすべきです。例えば、夏休み、冬休み、春休みを一週間ずつ短くする。それと道徳のような時間を復活して貰いたい。マナーやエチケットについて学ぶ時間があつた方がいいと思います。(IT・ネット通信/経営者・役員・取締役)

賛成 英語が話せれば様々な国の人と交流ができます。海外での仕事に

就けるなど将来性も感じられます。確かに日本人として日本語やマナーなどを覚えるのは必須です。しかし同時進行という形で学ぶということはできると思うので、私は小学校からの英語教育に賛成します。(繊維・アパレル/個人向け営業)

賛成 日本語の勉強はとても大事だと思います。まず、基本は母国語だと思えます。でも、世界の共通語(英語)は、読めたほうがいいし、書けたほうがいいし、話せたほうがいいと思います。しかも、言語に対する好奇心というものは、個人差はあると思いますが、幼稚園(年長さん位)小学校の頃が最も旺盛だと(我が身を振り返っても)思います。このころに、ある程度の刺激を加えてあげるの、とてもメリットのあることだと思います。(獣医師)

賛成 日本のグローバル化は進んできたと思いますが、島国故どうしても他国言語の習得が苦手な国だと思います。むしろ、小学生からというよりも生まれたときから英語学習をする！位の国の方針をつくってほしいくらいです。そうしなければ日本がこの先進国として、リードしていくことはできないでしょう。(自動車・機械・造船メーカー/研究・開発・設計)

賛成 貴重な授業時間を費やして中途半端に英語を教えるより、既存の学科をもっとしっかりとやって欲しい。例えば理科の実験とか、作文とか。(中学生・女子)

賛成 貴重な授業時間を費やして中途半端に英語を教えるより、既存の学科をもっとしっかりとやって欲しい。例えば理科の実験とか、作文とか。(中学生・女子)

賛成 英語の話せる日本人が一番恥をかかなくて、日本の文化を質問されて何も答えられなくて「君は日本人なのに、日本の事を知らないの?」と言われることです。「英語!英語!」と騒ぐ前に、日本語を学ぶほうが先だと思います。(ピースクラフトデザイナー)

賛成 まず、日本語で難なく文章を組み立てられる頭を作らないと、他の言語で複雑な会話を理解することはできないと思います。英語の専門家に聞いたことがあるのですが、とにかく日本語ができなければ英語を習っても無駄という答えでした。(塾講師)

賛成 英語はやりたくなくなった時にいつでもやれます。必要に迫られれば何語でも覚えます。野球の松井、イチロー、サッカーの中田、小野などいい例です。

反対派

反対 英語教育は重要ですが、外国語は外国で暮らせば大人になっても十分習得できます。私も仕事でタイに行った際、一週間程で最低限の意志伝達はできるようになりました。子供にとって重要なのは国語です。国語は読み書きを教えるだけの授業ではありません。情操教育を兼ねています。教材と一緒に読み、こんな時は笑い、こんな時は泣くと、他人の感情を推測することを学び、円滑なコミュニケーションができるように教育します。時に道徳を教え、倫理感を持たせます。(古着屋)

反対 今の小学生は、大人顔負けに忙しいんです。土曜日が休みのせいでも平日の授業時間が盛りだくさん、しかも課外活動もあって、放課後の時間が少ないんです。習い事も多いんですよ。子ども達はいっぱいいっぱいなんです。教育内容ばかりに目を向けるのではなく、毎日の遊び時間を確保してあげてもっと子どもの総合的な発達をみてあげましょうよ。遊びの中でい

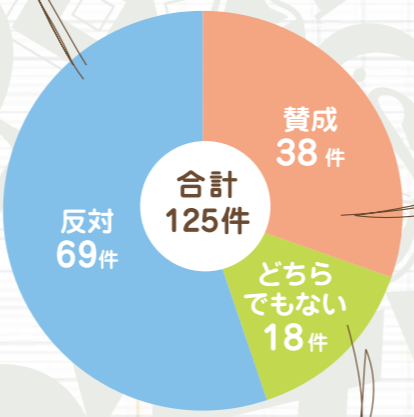
13歳のハローワーク公式サイト もっと教えて! フォーラム 時事ニュースにひとこと!

小学校の英語必修化。

キミも一緒に考えよう!

現在、全国の9割以上の小学校で、なんらかの形で英語の授業が行われています。教育方針を決める国(文科省)も、必修化に向けて環境整備を進めていますが、その一方で「小学校では日本語をしっかりやるべき。その上で、中学校から国際感覚を磨き、外国語をマスターするのがいい」という意見もあります。13歳のハローワーク公式サイト「もっと教えて!フォーラム 時事ニュースにひとこと!」でも、この問題を取り上げました。その結果、中学生から大人まで、多くの方からメッセージをいただきましたので、その一部をご紹介します。中学校に入学してから英語を学び始めたキミは、どう思いますか?

もっと教えて!フォーラム <http://www.13hw.com/forum/>



どちらでもない

子どもたちには、子ども時代しかできないことにもっともっと時間を割いてあげるべきです。なんと言ってもたっぷり仲間と遊ぶことが大切だと確信しています。(NPOで働く)

反対 政府は「コミュニケーションツール」としての英語教育をと言っていますが、その評価方法が不明確です。現在の英語は、単語の意味や品詞をいくつ覚えているか、文法を正しく理解しているのか、分詞の変化を覚えていくか等で到達度を評価しています。「コミュニケーションツール」であれば、相手に伝われば良いのですから今までの評価は使えません。したがって、教科として組み込むのは無理だと思えます。どうしても行うのであれば、入学試験・学内定期試験から除外すべきだと思います。(コンビニエンスストア/営業推進・販売促進)

どちらでもない まずは母国語をしっかり勉強して欲しい。自国の言語や文化を身につけていないと、国際人云々といっていられない。一方、少子化が進んで日本の人口が少なくなれば、海外とのやりとりを増やさないといけない。小学校から必修化という方策は中途半端。第2公用語にしてががやるか、中学生からの英語教育を根本的に変えるか。最悪なのは、小学校から必修化しても受験英語ばかりで本当の英語力がつかなかったときだろう。現状では、小中学校でそんなに頑張らなくても、高校で一年くらい留学したらそこそこ話せるようになるのだから、それでもいい気がする。(編集者)

どんな人生を送りたいのか、どんな子どもに育てたいのか、人によって違うので、反対、賛成のどちらの意見も説得力はあるけれど、結論に至るのは難しいですね。英語必修化の前に、豊かな人生を送るためにはどんなチカラが必要なのか、ここから議論を始めたほうがよさそうです。(編集長 代田)

ダンス *Dance*

Q. 舞妓さんになりたい。

私は、小さいころから舞妓さんになりたいと思っていました。小学校のとき、祇園の舞妓さんや芸妓さんとお話し、舞を見て、よりいっそう思いました。舞妓になりたいと親に言おうと思うのですが、**反対されたら考えるとなかなか言い出せません**。どうすれば良いのでしょうか？また、具体的に**どんな習い事をしてあげばいい**のでしょうか？（春 中学生/女性）



A.1 夢を叶えられるのは、一番準備をした人。

プロとして伝統を継承していくには、相当の心構えが必要です。日本語の読み書き、日本の文化と歴史の知識、外国語も要求されると思います。舞妓さんのBBSで直接アドバイスをもらうといいと思います。それでもなりたいたなら、必ず親御さんに相談してください。多分、「No!」だと思います。説得し、理解と協力をいただくしかありません。夢を叶えるのは、能力のある人ではありません。誰よりも一番準備をした人です。（ハロワのおやじ キャリアカウンセラー）

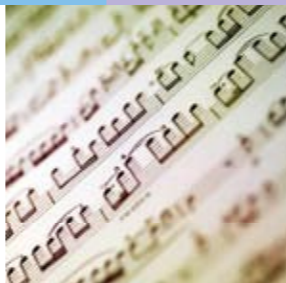
A.2 伝統文化を受け継ごうとする姿勢に共感。

舞妓さんは重い着物を着て踊るので、相当の体力を要します。お姉さん方や置屋さんとの相性もあります。道を歩くとき髪型や着物姿で分かりますから、つねに見られていることにも耐えねばなりません。また、色々な方とお話ししますから、どんな内容でも受け答えができる広い知識と言葉も求められます。お稽古事は、置屋さんで習わせて下さい。まずはご両親とよくお話しして下さい。応援していますので頑張って夢をかなえて下さいね。（ぶちでびる 日本舞踊家）

音楽 *Music*

Q. 音楽に関わる仕事がしたい。

昔は漠然と「音楽に関わりたい」と思っていたのですが、情報の時間に**音楽ビジネスの本で著作権について学び**、音楽の著作権に関する仕事に興味が出てきました。**JASRACや音楽出版社に就職するには、大学でどのようなことを学べばいい**のでしょうか。今は「社会学」や「メディア」系の学部学科を考えています。（ゆみ 高校生/女）



A. 高校生で著作権とは、先見の明がありますね。

僕が働いている音楽出版社では、3つの大きな業務があります。まずレコード会社と同じ「原盤制作」、次に「楽曲管理」、そして「管理楽曲のプロモーション」です。音楽著作権とは、文字通り著作権法に関わる権利ですから、学問的には法学部が有利かもしれませんが。契約書などを交わす業務や、JASRACさんと著作権に関して話をすることも多々あり、専門用語も日常業務で使うので、法律用語などに嫌悪感があると厳しいと思います。でも、音楽業界は、大学での専攻はあまり重視しない会社が多いので（笑）、自分の

興味ある学問をしっかり修めることが一番だと思います。最近の音楽業界は、CD売上による著作権収入が減る一方、配信による売上が大きくなっており、権利ビジネスの色合いがより一層強くなっています。原盤権や楽曲の著作権をさまざまな形態で使用促進させることが、大きな利益につながります。音楽出版社はJASRACさんとは違い、レコード会社やプロダクションと同じような業務が普通にあります。音楽業界を目指すのであれば、ぜひ音楽出版社へ来て下さい。（BOBBY 音楽の権利関係に関わる仕事）

アートと表現 の仕事について 知りたい!

13歳のハローワーク公式サイトには、仕事・職業の分野別に“働くこと”について、質問できる「もっと教えて! フォーラム 仕事・職業選び」があります。ここでは、その「アートと表現に関する職業」分野に寄せられた質問と、現場を知る人たちからの“生の声”を紹介します。周囲の人は誰も教えてくれなかった、憧れの職業への道のりについて親切&的確なアドバイスをもらい、目標が明確になった子がたくさんいます。ぜひ参考にしてください。また、サイトに行けば他の職業についての質問も見ることができるので、こちらも要チェックだね!

(いただいたご意見は、掲載にあたり編集しています。)



マスコミ TV・Radio

Q. 夢はラジオのパーソナリティー。

私の将来の夢は、ラジオのパーソナリティーになることです。そこで、DJやパーソナリティーをしている方にお聞きしたいのですが、ズバリ、どうしたらラジオのパーソナリティーになれるんですか？やっぱり、オーディションを受けるんですよね？それと専門学校に行く方がいいのでしょうか？（うさこしんかんせん 中学生／女）



A.1 私も小学生の頃からDJに憧れていました。

ラジオ局のアナウンサーになり、番組を持つ。オーディションを受ける。DJさんのプロダクションに入るという方法があります。私は、高校時代に「大学生です」と嘘をついて地元局のラジオオーディションに合格したのがきっかけです。専門学校には通っていません。何よりも、リスナーの方に興味を持ってもらえるよう、人としての引き出しを多く持っている人のほうが、圧倒的に強いと思います。（マリリン・マンソン ラジオパーソナリティー・DJ／女）

A.2 人前でしゃべるのが大好きでアナウンサーに。

『しゃべる』ことを仕事にするためには、まずボキャブラリーを増やしましょう。それには、「活字」を読むことが大切です。小説を読み、そこに描かれた世界を想像して下さい。新聞の見出しだけでもいいから日々のニュースに触れて下さい。気になったところはしっかり読んで下さい。それができれば、専門学校は必要ないかもしれません。魅力的なトークができる“プロ中のプロ”を目指して頑張ってください。（一語入魂 ラジオパーソナリティー・DJ／男）

文章 Writing

Q. 記者職について。

私は「ものを書く」職業に就きたいと思っています。小さいころから読書が好きで、将来は文章で人に何かを伝えることができたら、という憧れを持ってきました。一口に文章と言ってもさまざまな職業がありますが、私は中でも新聞や雑誌の記者職に就きたいと考えています。実際に記者職に求められる資質とは何でしょうか？（ちーすけさん 大学生・専門学校生／女）



A.1 「文章で何かを伝えたい」まずはそれで十分。

記者としての心得、それは「話を鵜呑みにしない」こと。多方面から確認し、「ウラを取る」ことが大事です。「まず疑え」ということではありませんが、ウソや間違った見識を伝えてしまえば、何の意味もありません。事実関係を検証し、正確に伝えること。それが「記事」です。同時に、その時感じた意見を自分の言葉で伝えること、それが新聞で言えば「コラム」であり、編集部内で取りまとめた意見が「社説」となるわけです。（好々爺Q 記者・ライター）

A.2 「ものを書く仕事＝物書き」ではありません。

記者は、読者の知りたいことを読者に代わって取材し、分かりやすく正確に伝えるのが仕事です。文章力もさることながら、読者の知りたいことをキャッチする「感性」、好奇心、取材先を見つける力、そして何より人から話を聞く力が重要です。その上で「真実を見極める力」が求められます。読書はもちろん、知らない世界に飛び込んだり、人に会って話を聞いたりすることが楽しいと思えることが「資質」といえるのではないのでしょうか。（ムクさん ライター）

絵・デザイン Picture Design

Q. スーパーカーをデザインしたい。

私はイタリアが大好きで、フェラーリやランボルギーニなどのデザインの仕事に憧れています。カーデザイナーになるには、どのような高校へ進んだらよいのでしょうか。卒業後はどうすればよいのでしょうか。そもそも、海外大手カーメーカーでは、外国人のカーデザイナーの需要はあるのでしょうか。ぜひ、教えてください。（G 高校生／女）



A. 美しさと究極の性能を両立する知識が必要。

イタリアなどには有名なカーデザイナー養成学校がありますが、世界中から希望者が殺到するので、入学には相当な努力が必要でしょう。現地の言語で専門的な学習ができるくらいの語学力は最低限必要です。大学に進学されるのであれば、理工系（できれば機械または要素工学系）の学科を選択してください。産業デザイン系の学科があれば、それもおすすめです。そこで養われた知識があって、はじめてあなたの美術的センスが試されることとなります。カーデザイナーとして最初に求められるのは、さまざまな分野の工学知識です。就職は、大学院卒業後に自動

車メーカーに入社し、車体設計部門に配属を希望するのがコースだと思えます。外国のメーカーで外国人をカーデザイナーとして採用している例は少なからずあります。道のりは険しいですが、夢を追いかけることができるなら、ぜひチャレンジしてください。今は、あなたの身の周りにある品物を見て「なぜ、この製品はこんな形なんだろう」と考えてみてください。例えばヘッドフォンやケトルなど、工業製品の形状には、みんな理由があります。それを理解することが、カーデザイナーへの第一歩だと思えます。（はんかん【鉄鋼・金属】営業／男）

映画 Movie

Q. 映画の美術に興味があります。

映画の美術さんになるには四大や専門学校など、どういうところに行けば就職できるのでしょうか？また、高卒で早いうちから映画に携わることはできないのでしょうか。（G 高校生／女）



A. ロサンゼルスに留学して勉強しました。

高校卒業後、留学して映画制作を勉強し、帰国して映像美術デザインの仕事をしています。アメリカでは、撮影現場の機材や学生映画のレベルはるかに高く、日本の映像の学校や芸大では体験できないような夢のような世界でした。とはいえ、日本には日本のノウハウがあり、ハリウッドのそれよりも繊細であったりします。それは、大いに勉強すべきだと思います。進学するのであれば、大学や専門学校の映像学科（の中の美術コース）、空間デザイン、環境デザイン、情報デザイン、または建築などが映像美術に直

結する分野だと思えます。ただ、自分で映像美術の会社を立ち上げて、一番欲しいのは高卒の人材です。デザインや図面を引くスキルはもちろん大切ですが、それは動きながら学べます。映像美術において重要なものは撮影現場でしか勉強できないのです。本気で映像美術を目指すのであれば、学生映画や自主映画の現場ではなくて（予算の関係で、美術が美術として成立しづらいので）、若いうちからプロの現場でのスキルを磨いて欲しいと思います。（ともしん美術・美術監督・デザイナー）

作曲家 三枝成彰が案内する はじめてのクラシック

～中学生・高校生のために～

1000円で生のオーケストラを聴こう!



2007.9.1 (SAT) → 9.2 (SUN)

14:00 開場 15:00 開演

会場：東京国際フォーラム ホールA

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 TEL 03-5221-9000

全席指定 ¥1,000 (税込) ※年齢に制限はありません
但し、未就学児は入場できません

【お話し】
三枝成彰 「クラシック音楽ってなあに？」

【曲目】
F.リスト
交響詩「前奏曲」
P.I. チャイコフスキー
幻想的序曲「ロメオとジュリエット」
H. ベルリオーズ
幻想交響曲—ある芸術家の生涯のエピソード
1. 夢想と情熱 2. 舞踏会 3. 田園の風景
4. 断頭台への行進 5. サバト (魔女大集会) の夜の夢

気鋭の指揮者

現田茂夫



一流奏者による生の迫力

東京フィルハーモニー交響楽団



充実した音響設備のホール

東京国際フォーラム ホールA



で味わう「熱狂」と「興奮」!

チケットのお申込み

チケットぴあ TEL 0570・02・9990 (Pコード: 263-052) 教育旅行取扱いのJTB各支店

プラスエム (※教育機関専用の受付窓口です 受付 9:30~17:30 / 土・日・祝休み) TEL 03・5541・7080 FAX 03・6222・4823
〒104-0033 東京都中央区新川1-10-14 ニューリバーアネックス 4階

お問合せ: メイ・コーポレーション (受付 10:00~18:00 / 日・祝休み) TEL 03・3584・1951 FAX 03・3584・1952

◎曲目等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催: 「はじめてのクラシック」実行委員会 特別協賛: Canon 協賛: 大和証券グループ / 株式会社東芝 / 三菱商事 (50音順)

特別協力: ABSME / tv asahi 協力: JM / 株式会社プラスエム (50音順) 後援: 東京都中学校音楽教育研究会 / 全日本中学校長会 (申請中)

全国高等学校長協会 (申請中) / 社団法人全日本吹奏楽連盟 (申請中) / 教育新聞 企画制作: 株式会社メイ・コーポレーション 企画協力: CFA

舞台俳優

歌舞伎俳優

能楽三役

舞台監督

舞台演出家

舞台美術

落語家

ステージ Stage

Q.1 俳優に憧れています。

将来の夢は俳優になることです。小さい頃からすごく憧れている職業です。でも困ったことがあります。それはどういう進路がベストなのかということです。中学校を卒業して芸能科がある高校に進学するか、それとも普通の高校に進学して上京して芸能プロダクションの養成所に進むのか。今活躍している俳優さん、女優さんたちはどのようにしてデビューしたのでしょうか。アドバイスよろしくおねがいします。(つばささん 中学生/男)

A.1 基礎をしっかりと学ぶことが重要です。

役者になりたいのなら、劇団が一番でしょうね。プロダクションの養成所でもいいのですが、本格的な役者は劇団です。まだ若いので俳優と言っても、テレビドラマに出たいと思っているのではありませんか。それだったら、養成所でもいいですよ。(マネージャーさん 芸能マネージャー)



Q.2 福岡にいい俳優養成所がありました。

芸能界は浮き沈みが激しく、苦勞や辛い思いすることがたくさんあると思います。それでも決してあきらめません。自分がいつかテレビ、映画などで活躍できると信じているからです。それを心に深く刻み込み、夢に近づけるように全力でがんばりたいです。(つばささん 中学生/男)

A.2 しっかりやっていたら、チャンスがあるかも。

福岡県なんですね。福岡出身の芸能人はとても多いですよ。まだ中学生なので、地元のプロダクションやモデル事務所にも所属して経験を積むのもいいかもしれませんよ。(マネージャーさん 芸能マネージャー)

Q.3 東京とは仕事の量やチャンスは違いますか?

いま福岡の俳優養成所に入ろうか、東京の養成所に入ろうか迷っています。(つばささん 中学生/男)

A.3 まず家族会議をして考えてください。

もちろん違います。やはり、芸能界の仕事は東京が一番多いですね。しかし、生活が大変ですよ。甘い世界ではないですから、東京で流されないようにポリシーを持つこととです。ご両親とよく話しあってください。頑張ってくださいね。(マネージャーさん 芸能マネージャー)